

バンダイ子どもアンケートレポート Vol.215

「子どもの習い事に関する意識調査」結果

TOPIC①: 子どもの習い事にかかる月額費用の平均は、**13,899円**。年齢が上がるにつれて上昇傾向
 新年度にあたり、習い事にかかる費用を「**変えない予定**」「**増やす予定**」が**9割以上**

TOPIC②: 子どもがしている習い事の3強は、「**水泳**」、「**ピアノ**」、「**学習塾**」
 男子にはスポーツ系、女子には芸術・技能系の習い事が人気！

TOPIC③: 小学校中学年までは、**体力向上・情操教育に注力した習い事をする傾向**
 小学校高学年からは、**受験・進学などに合わせ、学習系の習い事にシフト**

総括 : バンダイからのコメント

株式会社バンダイ(本社:東京都台東区、代表取締役社長:上野和典)は、新学期の開始にあわせ、3~6歳の未就学児童、小中学生の子どもを持つ親*800人を対象に、「習い事に関する意識調査」を実施しました。

調査結果を以下の通り発表いたします。(実査期間 2014年3月14日~16日) ※子どもと一緒に回答できる方

TOPIC①: 子どもの習い事にかかる月額費用の平均は、13,899円。年齢が上がるにつれて上昇傾向
新年度にあたり、習い事にかかる費用を「変えない予定」「増やす予定」が9割以上

【子どもの習い事にかかる1ヶ月の平均金額】(1人あたり)

	全体	3~6歳 未就学 児童	小学 1年生	小学 2年生	小学 3年生	小学 4年生	小学 5年生	小学 6年生	中学 1~3年生
平均金額	¥13,899	¥8,687	¥11,676	¥12,368	¥11,683	¥12,935	¥16,564	¥16,392	¥20,597

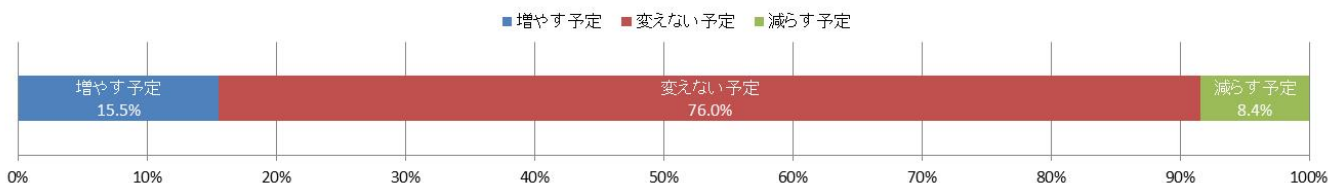
【子どもの習い事にかかる1ヶ月の金額】(1人あたり)



子どもの習い事にかかる1ヶ月の金額の平均は、13,899円となりました。全体では、「5,000円~9,999円」という回答が34.3%と一番多く、最高金額は120,000円でした。

学齢別の平均金額は、学齢があがるにつれて、習い事にかかる金額も上昇している傾向がうかがえました。金額の上昇は、学齢があがるにつれて、学習塾などの学習系の習い事をする子どもが増えていることと関連していると考えられます。

【新年度は、習い事にかかる費用を前年度から変えるか】



※データの数値は小数点第2位以下を四捨五入しております

新年度(2014年度)は前年度(2013年度)に比べて、子どもの習い事にかかる費用を変えるかという点については、「変えない予定」が76.0%、「増やす予定」が15.5%となり、「変えない予定」、「増やす予定」が全体の9割を占めました。一方で、「減らす予定」はわずか8.4%にとどまり、全体として現状維持もしくは増加の傾向を示す結果となりました。

「変えない予定」の理由としては、「本人が好きで続けてやっていることなので、できる限りやらせてやりたいから」、「子どもも今のまま続けたいから。また、新しくやりたいものはないから」といった回答が見られました。

また、「増やす予定」の理由としては、「本人の希望を尊重したいと思うので」、「いろいろなことに挑戦させたいから」といった回答が寄せられました。

一方、「減らす予定」と回答した方の中には、「消費税が増税され、介護保険料の引き落としが開始されるので」というコメントも見られましたが、少数意見でした。

全体として、子どもの意思や子どもの可能性を広げることを重視した結果が、習い事にかかる金額に反映されており、消費税増税の影響はほぼ見られないことを示す結果となりました。

TOPIC②: 子どもがしている習い事の3強は、「水泳」、「ピアノ」、「学習塾」

男子にはスポーツ系、女子には芸術・技能系の習い事が人気！

【子どもが今習っている習い事】

総合TOP10		
1位	水泳	19.1%
2位	ピアノ	18.0%
3位	学習塾	16.5%
4位	英会話	11.3%
5位	習字	10.5%
6位	サッカー	8.4%
7位	その他	6.1%
8位	そろばん	5.0%
9位	体操・新体操	3.3%
10位	ダンス	3.0%

※複数回答

男子総合TOP5		
1位	水泳	23.5%
2位	サッカー	16.8%
3位	学習塾	15.3%
4位	英会話	10.3%
5位	習字	8.8%

女子総合TOP5		
1位	ピアノ	28.5%
2位	学習塾	17.8%
3位	水泳	14.8%
4位	英会話	各12.3%
	習字	
5位	そろばん	7.3%

子どもの習い事について親に質問したところ、「習い事をしている」が66.7%、「習い事をしていない」が33.3%となり、3人に2人が習い事をしているという結果になりました。1人あたりの習い事の平均個数は、1.1個でした。

子どもが今している習い事の1位は「水泳」(19.1%)。続いて、2位「ピアノ」(18.0%)、3位「学習塾」(16.5%)、4位「英会話」(11.3%)、5位「習字」(10.5%)がランクインしました。

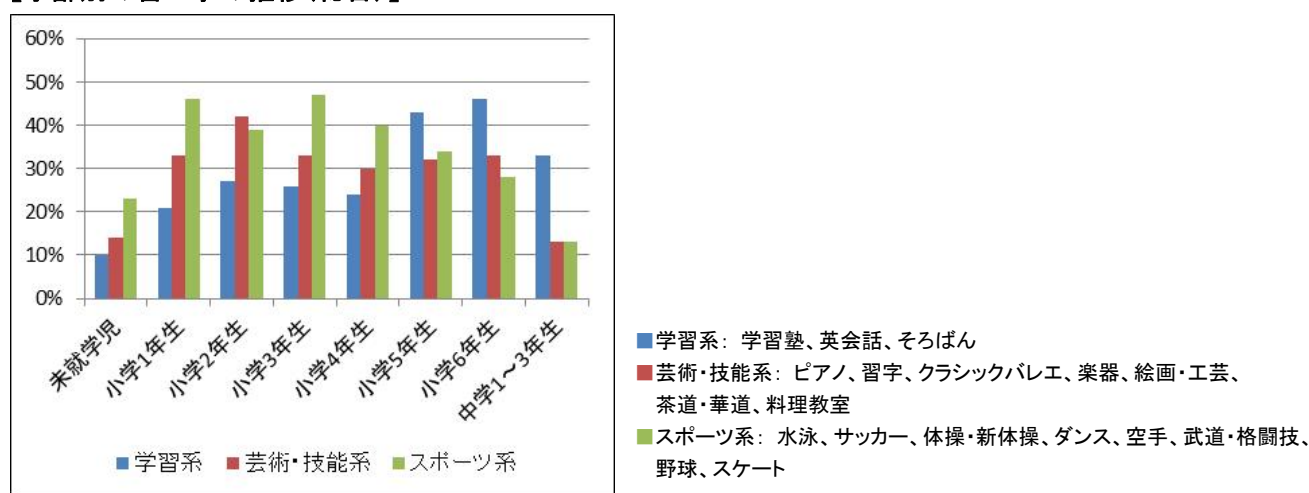
男女別では、男子の1位が「水泳」(23.5%)、女子の1位が「ピアノ」(28.5%)となった他、男子はスポーツ系の習い事がトータルで44.8%、女子は芸術・技能系の習い事がトータルで40.8%と、人気であることを示す結果となりました。

TOPIC③: 小学校中学年までは、体力向上・情操教育に注力した習い事をする傾向 小学校高学年からは、受験・進学などに合わせ、学習系の習い事にシフト

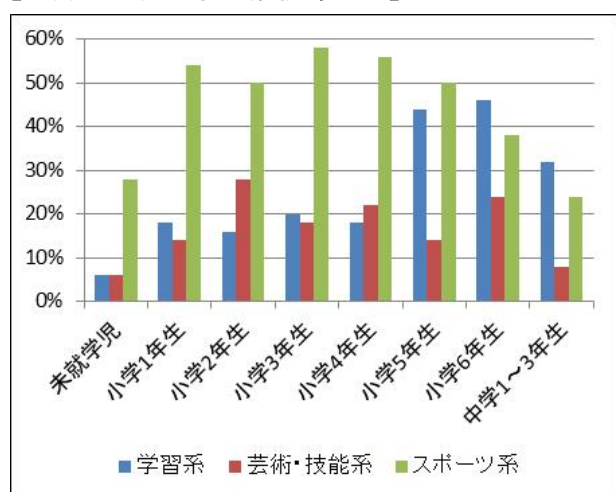
子どもがしている習い事を学齢別・ジャンル別に分析すると、未就学児から小学校4年生までは、芸術・技能系、スポーツ系の習い事をしている子どもが多いという結果に。習っている理由として、「体力をつけるため」(回答:水泳/小学1年生男子の父親)、「音感やリズム感の育成、情操教育のため」(回答:ピアノ/小学2年生女子の父親)というコメントなどが見られ、幼少期は子どもの心身ともに健やかな成長を願い、体力向上や情操教育などに注力している傾向が読み取れました。

小学校5年生以降になると、学習系の習い事をする子どもが増え、芸術・技能系、スポーツ系の習い事を上回るという結果に。「受験のため」、「進学のため」(回答:学習塾)などのコメントが多数見られ、受験や進学などに合わせ、学習系の習い事にシフトしていることがうかがえました。

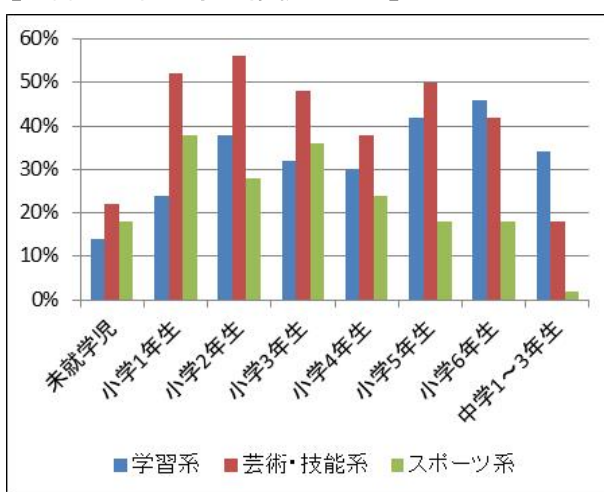
【学齢別の習い事の推移(総合)】



【学齢別の習い事の推移(男子)】



【学齢別の習い事の推移(女子)】



【バンダイからのコメント】

4月からの新学期にあわせ、親子で「習い事」を検討している方も多いのではないのでしょうか。今回の調査では、子どもの将来を思い、年齢にあわせた習い事を親子で選択しているという傾向がわかりました。また、主にスポーツ・芸術・技能系の習い事では、子ども自身がその習い事を「好きだから習いたい」と選択したことがわかるコメントが多く見受けられ、幼稚園・保育園・学校では学べない事を習得したいという子どもの積極的な姿勢が垣間見え、嬉しく、そして頼もしく感じました。

習い事にかかる金額については、前年度に比べて「変えない予定」、「増やす予定」が全体の9割以上となり、現状維持・増加の傾向を示す結果となりました。「子どもが楽しそうに通えているので」、「できる範囲で子どもがやりたいことをやらせたい」などのコメントが寄せられ、消費税増税という家計を圧迫する状況がある中、子どものやりたいことを実現させるために、子どもの教育費を捻出している様子がうかがえました。

■調査概要

- 【調査目的】 習い事に関する意識を探る
- 【調査地域】 全国
- 【対象者条件】 3～6歳の未就学児童、小学生、中学生の子どもを持つ親
※子どもと一緒に回答できる方
- 【調査手法】 インターネット調査(協力:株式会社クロス・マーケティング)
- 【実査期間】 2014年3月14日(金)～3月16日(日)
- 【サンプル数】 800人
- 【構成】

(全体)	3～6歳 未就学 児童	小学 1年生	小学 2年生	小学 3年生	小学 4年生	小学 5年生	小学 6年生	中学 1～3年生
男子	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人
女子	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人

こどもアンケートホームページ: <http://www.bandai.co.jp/kodomo/>

バンダイホームページ: <http://www.bandai.co.jp/>